

令和3年度～令和5年度 箕面川床事業の事業評価について

令和6年3月7日
占用者：箕面市観光協会

今回の事業評価について

大阪府では、都市・地域再生等利用区域において、占用許可を満了し継続する際には、事業の安定性などを確認するために、本審議会において、事業評価を実施している。

今回は、箕面川床事業が令和5年度末に占用許可期間末を迎えることから、前回の事業評価以降の3年間の取組について、事業評価を行い、事業継続について審議を行う。

《事業評価の視点》

	評価項目
①	地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか
②	水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか
③	水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか
④	提案内容の実現性はあるか

1. 事業箇所

◆事業概要

当該区域では、明治から昭和初期にかけて実在した川に張り出した茶店や休憩所を復活させるなど、名勝箕面山が本来有するイメージに沿って再整備し、観光都市「箕面」そして「溪流」の景勝地として、位置づけることで、河川を活かした地域の活性を図っているところである。



2. これまでの経過

【主な経過】

- ◆平成21年11月 第1回箕面川床協議会の開催（以後、年2回を目途に定期的に実施）
- ◆平成22年4月 梅屋敷・紅葉橋の供用開始（社会実験としての実施）
- ◆平成24年3月 都市・地域再生等利用区域の指定
- ◆平成24年4月 箕面川床本格実施開始
- ◆平成30年1月 大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価）
→審議会の結果、事業継続は妥当。
- ◆令和3年1月 大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価）
→審議会の結果、事業継続は妥当。委員より以下のとおり意見あり。

【安全面】

当該区域は、箕面市のハザードマップで土砂災害のレッドゾーンに入っている。
気象庁の危険度分布のリアルタイムの情報も参照しながら安全に関する取組を検討されたい。

【賑わい面】

（コロナ禍をふまえ）テイクアウト方式（弁当の販売）を検討しては。
阪急の情報誌 **TOKK** がなかなか手に入らないため、配布場所を増やす取組を検討しては。

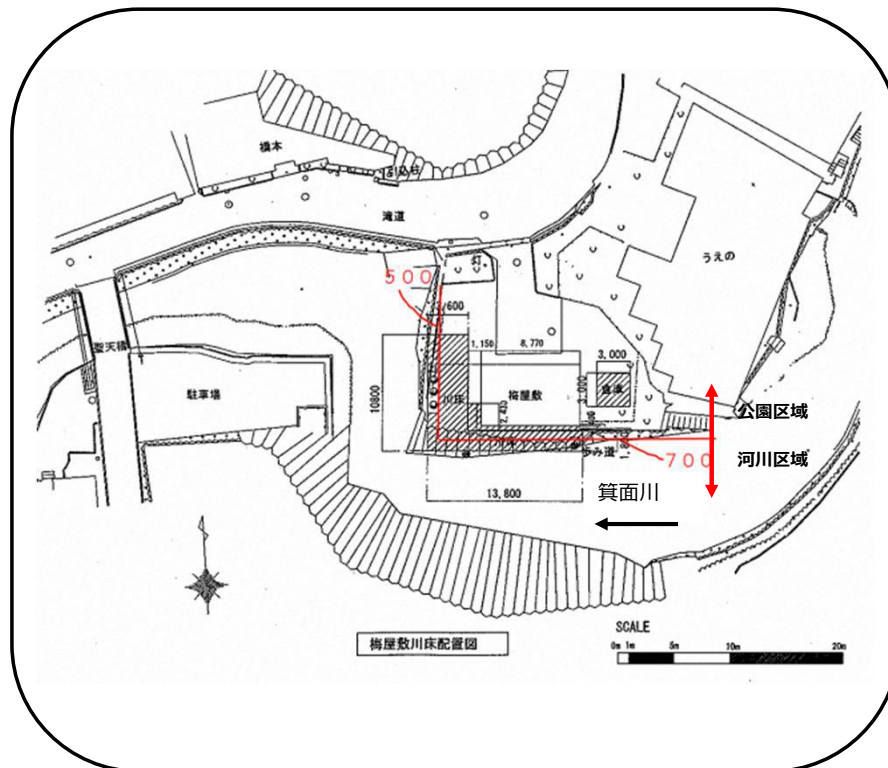
3. 箕面川床について

◆ 箕面川について

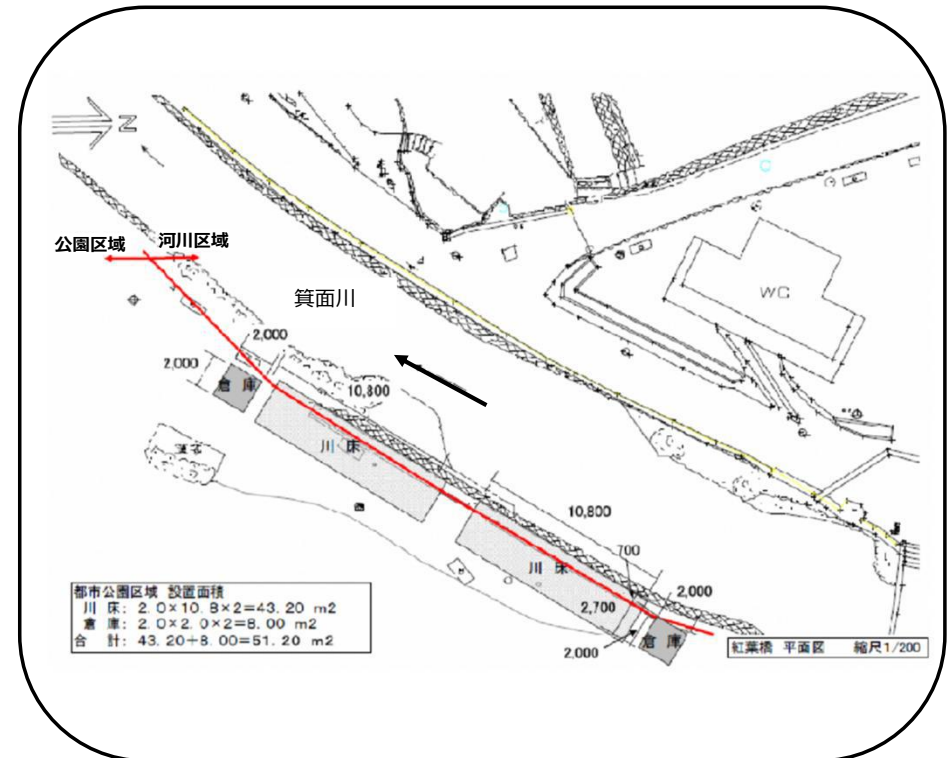
箕面川は、豊能町高山地区の山地に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川に注ぐ河川。

箕面川床事業が実施されている箇所は箕面川の中で中上流部に位置している。当該区間は自然豊かな山間部となっており、天然護岸が多いエリア。

No. 1 梅屋敷

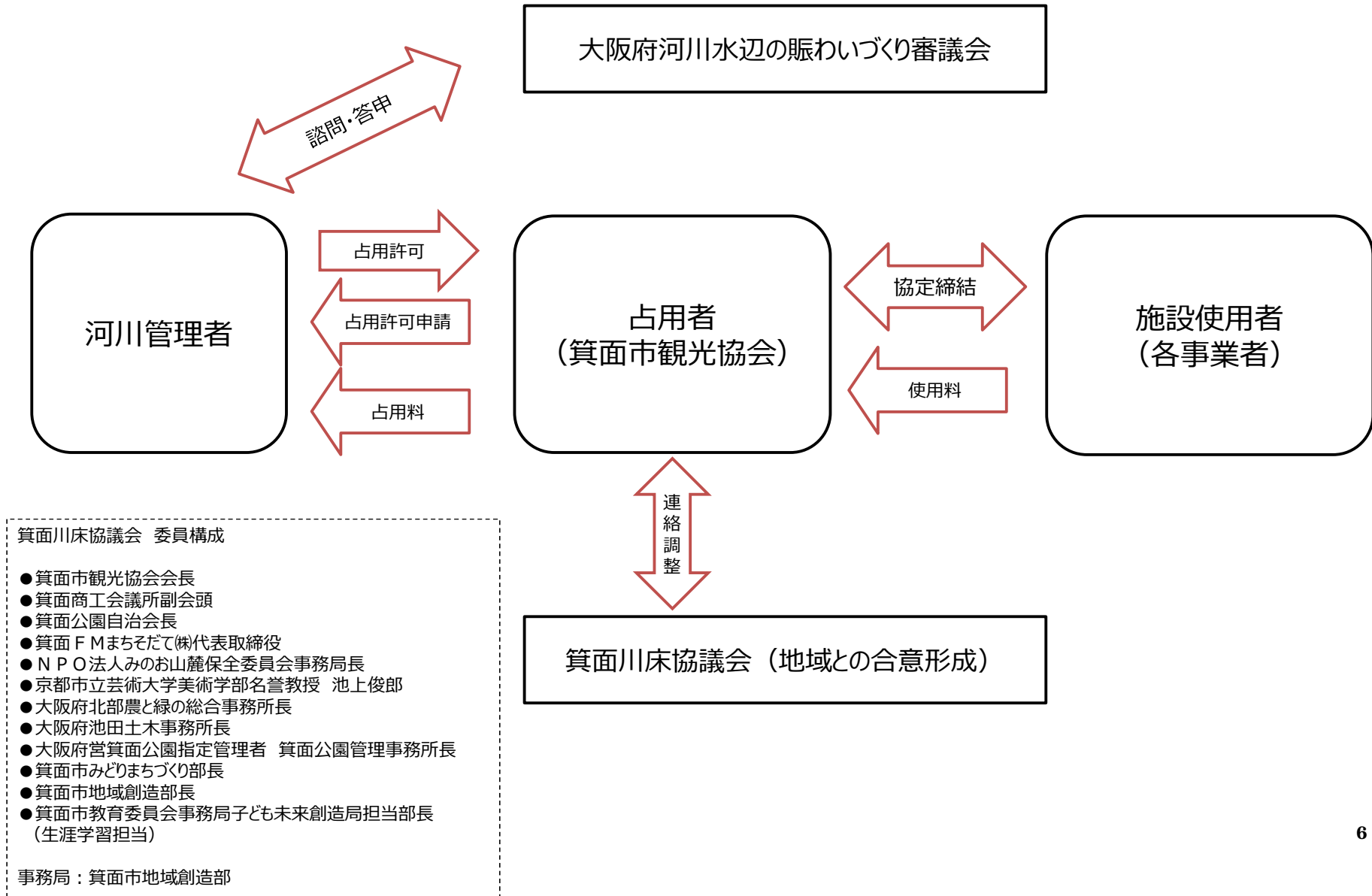


No. 2 紅葉橋



3.箕面川床について

◆事業スキーム



4. 実施経過

- ◆ 社会実験実施 : 平成**22**年（春・夏）、平成**23**年（春・夏・秋）
- ◆ 本格実施（第1期） : 平成**24**年度～平成**26**年度（**No.1**、**No.2**）
- ◆ 本格実施（第2期） : 平成**27**年度～平成**29**年度（**No.1**、**No.2**）
- ◆ 本格実施（第3期） : 平成**30**年度～令和 **2**年度（**No.1**、**No.2**）
- ◆ 本格実施（第4期） : 令和 **3**年度～令和 **5**年度（**No.1**、**No.2**）

5. 令和3年度～令和5年度 実施結果

◆ 営業：2店舗で春・夏・秋と3季にかけて実施

No. 1 梅屋敷付近 ⇒ 『川床音羽山荘梅屋敷』
毎年6月頃川床音羽山荘梅屋敷の食事とセットになった
ホテル鑑賞会を実施

No. 2 紅葉橋付近 ⇒ 『川床磯よし』

◆ 提供物

お膳や、お弁当を中心としたメニュー
箕面産の食材を取り入れた料理・飲み物など
(例) 柚子、行者そば、箕面ビール、ゆずサイダーなど



川床PRチラシ

事業PRについて

- ◆ チラシ・ポスター作成
 - ・ 阪急各駅などにチラシ配架を依頼
 - ・ 観光案内所等市内関係機関にポスター掲示、チラシ配架
 - ・ 各種イベントでのチラシ配布
- ◆ 各メディアへの情報提供
- ◆ その他掲載記事等
 - ・ 大手新聞
 - ・ インターネット上の各種情報欄
 - ・ テレビ番組
- ◆ 箕面市観光協会公式X（旧Twitter）で新緑カーニバル等のイベント情報と併せて情報発信

5. 令和3年度～令和5年度 実施結果

箕面川床うちわ



TOKK (WEB版)

TOKK 【トック】

えき、まち、くらし、阪急沿線おでかけ情報

50周年 特集 ニュース イベント グルメ ショッピング エンタメ おでかけ 暮

箕面公園の「箕面川床」今年もオープン！川のせせらぎを聴きながら旬の素材を使った料理に舌鼓。10月29日（日）まで

2023.05.03

イベント

阪急箕面駅

風景・景色 名所・旧跡

大阪・箕面公園内の箕面川沿いで、今年も「箕面川床」がオープン、2023年10月29日（日）まで実施される。

箕面公園へは、阪急箕面駅から徒歩約5分。箕面大滝へと続く滝道が新緑に包まれるこの時期は、紅葉とはまた違う魅力がある。風物詩の箕面川床は、明治期にあった無料休憩所や茶店が起源といわれ、一時は姿を消したが近年復活。箕面川のせせらぎをBGMに、旬の味覚を生かした料理を味わって。

※営業日時は店舗により異なる。2店舗共に要予約。



箕面市観光協会公式HP



箕面川床

春は新緑のモミジを眺めながら。
夏は頬をなでる風とせせらぎに涼やかに癒されながら。
秋は色づく木々を愛でながら。
四季折々の美しさを見せる箕面川沿いで、
ゆっくり安らぎの時間を楽しんでください。



期間 4月22日（土）～10月29日（日）まで
なお、店舗により営業日・時間が異なります。
詳しくは、「箕面川床店舗・メニュー・予約のご案内」をご覧ください。
川床音羽山荘梅屋敷...阪急箕面駅から徒歩10分程度
磯よし...阪急箕面駅から徒歩15分程度
※2店舗とも全席禁煙です。

令和5年度箕面川床案内チラシ ダウンロード



→箕面川床チラシ（表面）（PDF：1313KB）

→箕面川床チラシ（裏面）（PDF：691KB）

箕面川床店舗・メニュー・予約のご案内

磯よし



吹き抜ける風を感じながら、季節の食材を使ったお料理をお楽しみください。心よりお待ちしております。

【営業日・時間】
4月22日（土曜日）お16時30分（全席日） 正午から午後5時
7月1日（土曜日）お18時27分（月曜日） 正午から午後8時
8月26日（月曜日）お19時20分（日曜日） 正午から午後4時
※要予約。
【メニュー】

音羽山荘 梅屋敷



素晴らしい箕面の景観の中で、音羽山荘の「川床料理」をおもてなしさせていただきます。ご家族連れ、宴会でも一度ご利用くださいませ。

【営業日・時間】
4月22日（土曜日）お16時11分（日曜日）
午飯11時30分から午後3時
7月15日（土曜日）お19時17分（日曜日）
午飯5時から午後8時30分
8月23日（土曜日・祝日）お19時29分（日曜日）
午飯11時30分から午後3時
※要予約。ご予約は前日の午後5時までにお願いいたします。
※月・水・木曜日は原則10名様以上のご予約のみ営業。
※火曜日は休業。
【メニュー】

箕面川床報道提供資料

(4)箕面川床

清流のせせらぎや鳥のさえずりをBGMに、季節の食材や箕面市止々呂美地区の実生ゆずを使ったお料理、箕面ビールを堪能できます。夏期は夜間まで予約可能です。

●川床磯よし 電話：072-724-2477

●川床音羽山荘梅屋敷 電話：072-721-3005

※営業日程、時間、メニュー等については各店舗へお問い合わせください。（要予約）



5. 令和3年度～令和5年度 実施結果

イベントの実施状況

この季節だけの賞沢なひととき
箕面川床 Minoh KAWAYUKA
 4.22土～10.29日

川床 磯よし
 箕面川床 07-724-2477
 07-724-2477 10:00～17:00
 07-724-2477 12:00～21:00
 07-724-2477 12:00～18:00

川床 音羽山荘 梅屋敷
 07-721-3002
 07-721-3002 11:30～18:00
 07-721-3002 17:00～20:30
 07-721-3002 12:00～18:00

箕面 交通・観光案内所
 072-723-1885
 072-721-1788
 07-721-3002
 07-721-3002
 07-721-3002

箕面市観光協会チラシ（新緑カーニバル）

Minoh 2023
 やっぴりいいな 箕面
 新緑お出かけガイド

新緑カーニバル
 4.22土～5.31水
 お得な新緑 新たな魅力
 箕面の新緑観光を
 たっぷりご紹介

初開催！
 春の特別ライトアップ

Contents
 ● 明治の真実国定公園トレッキング ● 箕面川床
 ● 森林ヨチヨチ 2023 Spring ● 源安寺の特別拝観
 ● 春の特別ライトアップ ● 勝尾寺いっとこ一度ははいてキャンペーン
 ● 新緑お楽しみ特典 ● 周辺のイベント情報紹介
 ● 箕面観光ボランティアガイドハイキング

発行/主催/箕面市観光協会 後援/箕面市

この季節だけの賞沢なひととき
箕面川床 Minoh KAWAYUKA
 10.29日まで開催

川床 磯よし
 箕面川床 07-724-2477
 07-724-2477 10:00～17:00
 07-724-2477 12:00～21:00
 07-724-2477 12:00～18:00

川床 音羽山荘 梅屋敷
 07-721-3002
 07-721-3002 11:30～18:00
 07-721-3002 17:00～20:30
 07-721-3002 12:00～18:00

箕面 交通・観光案内所
 072-723-1885
 072-721-1788
 07-721-3002
 07-721-3002
 07-721-3002

箕面市観光協会チラシ（サマーフェスタ箕面公園）

MINOH EXPO
サマーフェスタ
箕面公園 2023
 Minoh Summer Festa

この夏の思い出を
夜の箕面で

2023
 7.15土
 8.27日

Contents
 ● 明治の真実国定公園 夏の特別ライトアップ ● 先/届けるおののきナゾキトレジャーハント!
 ● みのりキャンパルロード2023 ● 箕面川床
 ● 箕面滝道ワンウェイ観光周遊バス ● 周辺のイベント情報

発行/主催/サマーフェスタ箕面公園実行委員会 後援/大塚町 箕面市 歴史街道推進協議会 協賛/阪急電鉄株式会社

川床利用者へのアンケート

- 自然の中での食事は心に残る。
- 風景に感激している。川面のせせらぎは風情がある
- …等

旅行会社からの意見等

- 「川床があるため箕面市を訪れた」という観光客もいる。
- 箕面公園周辺で、ツアー団体客の食事処を探すのが難しいが、川床は団体客でも利用可能。
- …等

5. 令和3年度～令和5年度 実施結果

《集客数》

		令和3年		令和4年		令和5年	
		NO.1梅屋敷 音羽山荘	NO.2紅葉橋 磯よし	NO.1梅屋敷 音羽山荘	NO.2紅葉橋 磯よし	NO.1梅屋敷 音羽山荘	NO.2紅葉橋 磯よし
春	期間	4月24日～ 6月13日	4月24日～ 6月30日	4月23日～ 6月12日	4月23日～ 6月30日	4月22日～ 6月11日	4月22日～ 6月30日
	時間	11:30～15:00	12:00～17:00	11:30～15:00	12:00～17:00	11:30～15:00	12:00～17:00
	人数	100人	121人	459人	583人	378人	527人
夏	期間	7月17日～ 9月20日	7月1日～ 9月20日	7月14日～ 9月18日	7月1日～ 9月19日	7月15日～ 9月17日	7月1日～ 8月27日
	時間	16:45～20:00	12:00～20:00	16:45～20:45	12:00～21:00	17:00～20:30	12:00～21:00
	人数	278人	1,038人	334人	1,192人	508人	1,331人
秋	期間	9月23日～ 10月31日	9月21日～ 10月31日	9月23日～ 10月30日	9月20日～ 10月30日	9月23日～ 10月29日	8月28日～ 10月29日
	時間	11:30～15:00	12:00～17:00	11:30～15:00	12:00～17:00	11:30～15:00	12:00～16:00
	人数	249人	351人	257人	464人	268人	757人
年間合計	店別	627人	1,510人	1,050人	2,239人	1,154人	2,615人
	2店合計	2,137人		3,289人		3,769人	

6. 安全対策及び防災の取組について

梅屋敷・紅葉橋は土砂災害特別警戒区域に指定されているため、各事業者はその旨を周知のうえ、気象庁が公開する「キキクル」等を活用し、最新情報を収集するよう情報共有をしている。また、「箕面川床設置運用要項」第14条においては緊急時の対応について以下のとおり定めている。

箕面川床設置運用要項（抜粋）【箕面川床協議会 作成】

（緊急時の対応）

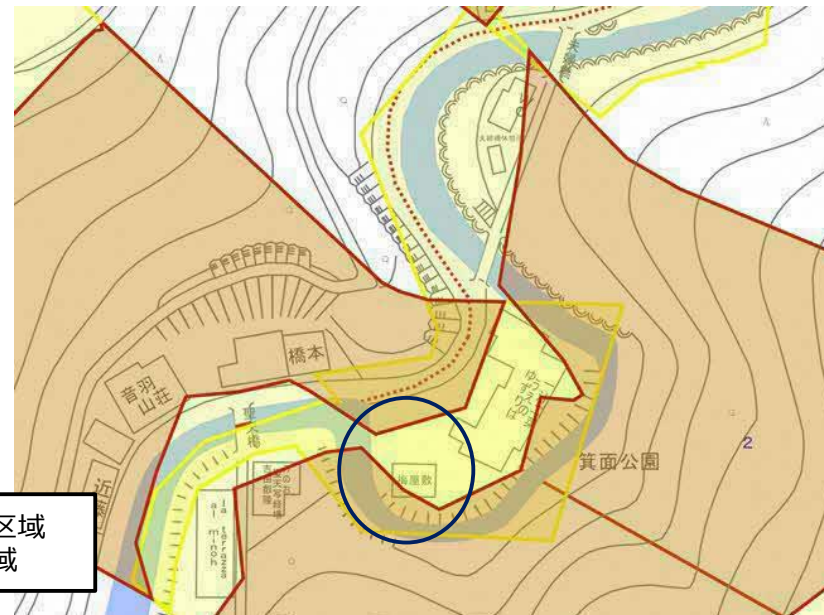
第14条 川床事業者等は、自ら安全対策に万全を期すものとする。箕面公園内は河川区域で上流に箕面川ダムがあることから、大雨が降りダムの貯水量が許容量を超えるとダムから箕面川へ放水されるので、放水前の警報装置が鳴り次第、川から高い場所へ避難することを徹底するものとする。

2 大雨警報などが発令された場合は、川床利用者に対して、安全な場所への避難誘導を行うとともに、営業を中止する等の措置をとり、川床利用者の安全を確保すること。また、河川管理者と常時連絡がとれるよう緊急連絡体制を確立するものとする。

紅葉橋周辺ハザードマップ^o



梅屋敷周辺ハザードマップ^o



赤着色部分・・・土砂災害特別警戒区域
黄色着色部分・・・土砂災害警戒区域

6. 安全対策及び防災の取組について

豪雨・台風に関する安全対策

① 箕面川床事業者（責任者を配置）が情報収集に努める。

※情報収集の手段は、気象庁のキキクル、タッキー816みのおエフエム、滝道安全ネットワーク等。

※箕面公園管理事務所は、滝道沿道の関係者と「滝道安全ネットワーク」を構築し、安心・安全メールを運用している。

例：異常気象時、滝道等での崩落・剥落災害情報、緊急工事に関する情報など

② 警戒レベルに応じて、以下の対応を実施。

◆ 大雨警報（警戒レベル3）が発令された場合

⇒ 営業を中止し、利用客は安全な場所（音羽山荘本館および礒よし本店）に避難。

⇒ 避難後に、避難所の開設状況を確認。利用客の状況（帰宅可能か）を確認し、必要であれば避難所へ移動。避難所が開設されていない場合は、利用客の状況等により、事業者から箕面市観光協会または箕面市営業室を通じて箕面市災害対策本部に避難所の開設要請を行う。

◆ 土砂災害警戒情報（警戒レベル4）が発令された場合

⇒ 利用客は避難所へ移動する。

ダムの放流に関する安全対策

① ダム放流の3時間前に、ダム管理者（大阪府池田土木事務所）から、箕面公園管理事務所等に通知。

② 箕面公園管理事務所は、「滝道安全ネットワーク」を活用し、箕面市観光協会や各事業者等に通知。

③ ダム放流の1時間前に警報装置（公園内に放送）が作動し、川床事業者が利用者を川から安全な場所へ誘導。

※上記については、各事業者で従業員教育（利用者に対する、施設利用時の危険箇所の案内徹底）を実施。

また、緊急対応マニュアルを作成し、従業員への周知を徹底している。

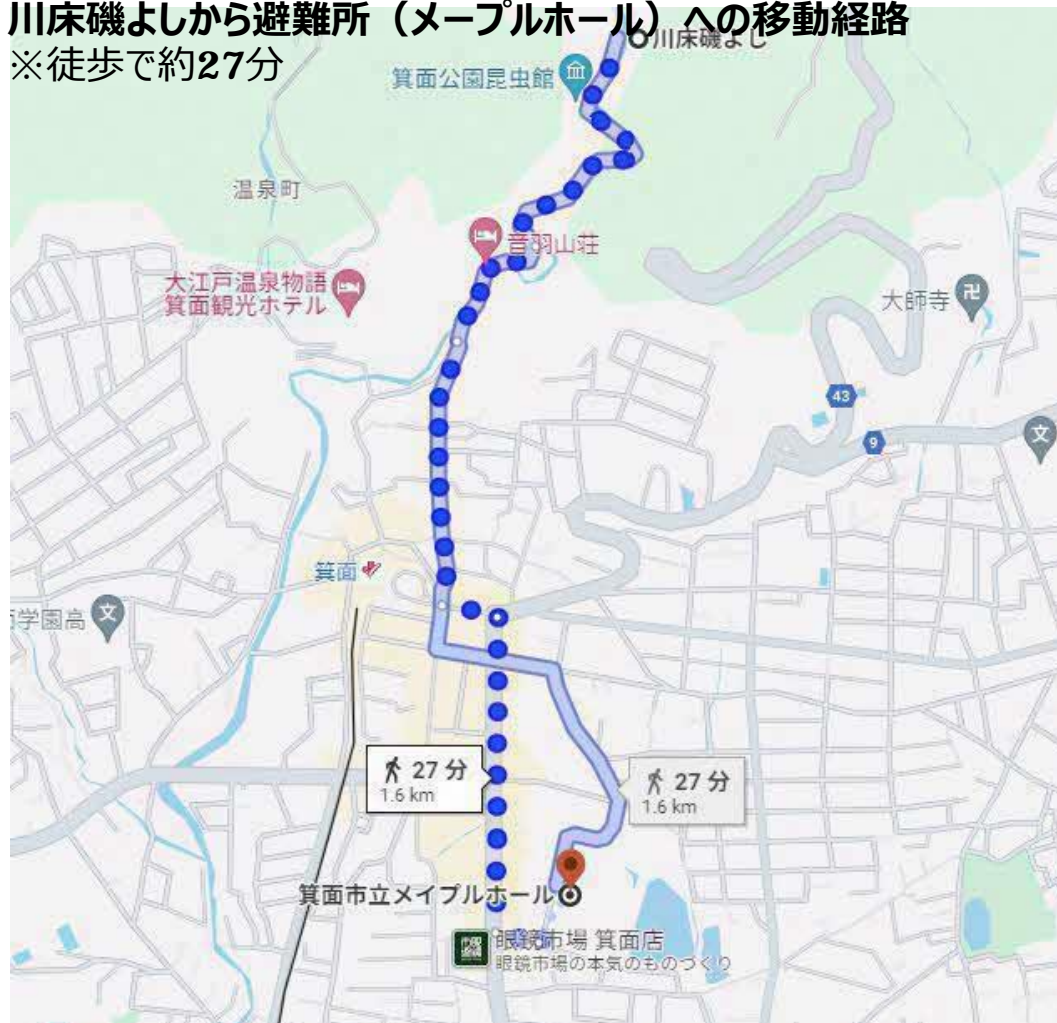
6. 安全対策及び防災の取組について

避難経路について

(参考)

避難所（メイプルホール）の収容人数：約415人
川床の客席数： 50人（川床磯よし）
25人（川床梅屋敷）

川床磯よしから避難所（メイプルホール）への移動経路 ※徒歩で約27分



川床磯よしから磯よし本店までの移動経路 ※徒歩で約22分



川床梅屋敷から音羽山荘本館までの移動経路 ※徒歩で約1分



7. 令和6年度以降の事業予定について

◆ 令和6年度以降の事業実施について（予定含む）

- ・ 令和5年10月 No.1とNo.2の2箇所において、事業者公募を開始。
（事業期間（令和6年度～8年度））
- ・ 同年 12月 新規事業者の選定。
（公募の結果、これまでと同じ事業内容で同じ事業者に決定。）
- ・ 令和6年 1月 箕面川床協議会にて新規事業者の承認（地域の合意）。
- ・ 同年 3月 河川管理者への河川占用や箕面市観光協会と各事業者の使用契約等の手続き。
- ・ 同年 4月 川床の営業開始。

◆ 幅広い観光客獲得に向けた情報発信の強化について

- ・ 箕面市外からの観光客を集客するため、大阪観光局の観光案内所（JR大阪駅、JR新大阪駅、地下鉄難波駅）などへのチラシ・ポスターの設置依頼。
- ・ 箕面市観光協会公式X（旧Twitter）にて箕面川床単独で情報発信を実施。
（従来は他のイベントの一部として情報発信）
- ・ 令和5年度にリニューアルした音羽山荘の内装を発信する等、リピート客の獲得もめざす。
- ・ また、箕面市観光協会において、令和4年度に「箕面観光戦略」を策定（計画期間：令和5～9年度）。川床だけでなく市内全体の観光振興をめざし、「箕面公園周辺のブランディング」「観光受け入れ体制の強化」などに向けた取組を今後検討予定。

8. 現在（R3～R5）の取組状況、今後の取組計画 整理表

確認項目	現在（R3～R5）の取組状況、今後の取組計画
①地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 「箕面川床」は、平成22年、23年の社会実験を含め10年以上にわたり観光客や地域住民に親しまれ、大都市近郊にありながら、豊かな自然や川のせせらぎとともに料理を楽しむことができるため、観光資源のひとつとして水辺の賑わい空間を創出している。 令和5年度に実施した利用客向けアンケートでは、「自然の中での食事は心に残る。」「風景に感激している。川面のせせらぎは風情がある。」などの良いご意見をいただいている。 また、料理の提供だけでなく、毎年6月には食事とセットになったホテルの鑑賞会を開催するなど、川を生かしたイベントも実施している。 観光客の中には、「川床があるため箕面市を訪れた」というご意見をいただくこともあり、地域活性化に貢献していると考えます。 旅行会社から、箕面公園周辺で、ツアー団体客の食事処を探すのが難しいと伺っているが、川床は団体客でも利用可能なため、ツアー団体客の誘致にも貢献していると考えます。
②水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか	<ul style="list-style-type: none"> 府内唯一の川床であり、都市部からの距離も遠くないため、コンテンツとしての強みはあると考えている。実際に、利用者向けアンケートで「市内から近く川床を楽しむことができた。」との声もいただいている。 集客数は、コロナ禍から回復傾向にあり、今後は、市外観光客の取り込みなど、新たな層へのPRを強化することにより、更なる増加を図る予定。
③水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか	<ul style="list-style-type: none"> 年2回箕面川床協議会を開催し、地元自治会や企業団体等を含めた関係者とのつながりを構築している。 新緑カーニバルやサマーフェスタなど、公園全体のイベント実施時には、イベント広報チラシに川床事業のPRを行っている。 報道機関への情報提供や市内を中心として、沿線の公共交通機関や市内各施設にて広報を行っており、今後は市外での情報発信を通じて、更なる集客数の増加により水辺の賑わいの創出を図る予定。 また、箕面市観光協会においては、令和4年度に「箕面観光戦略」を策定（計画期間：令和5～9年度）。川床だけでなく市内全体の観光振興をめざし、「箕面公園周辺のブランディング」「観光受け入れ体制の強化」などに向けた取組を今後検討予定。
④提案内容の実現性はあるか	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度以降の事業者は公募により決定しており、また、これまでの事業実績のある事業者が選定されている。 PRは、既存媒体の活用や大阪観光局など既に関係性が構築されている団体へのチラシ・ポスター配架の依頼を予定している。